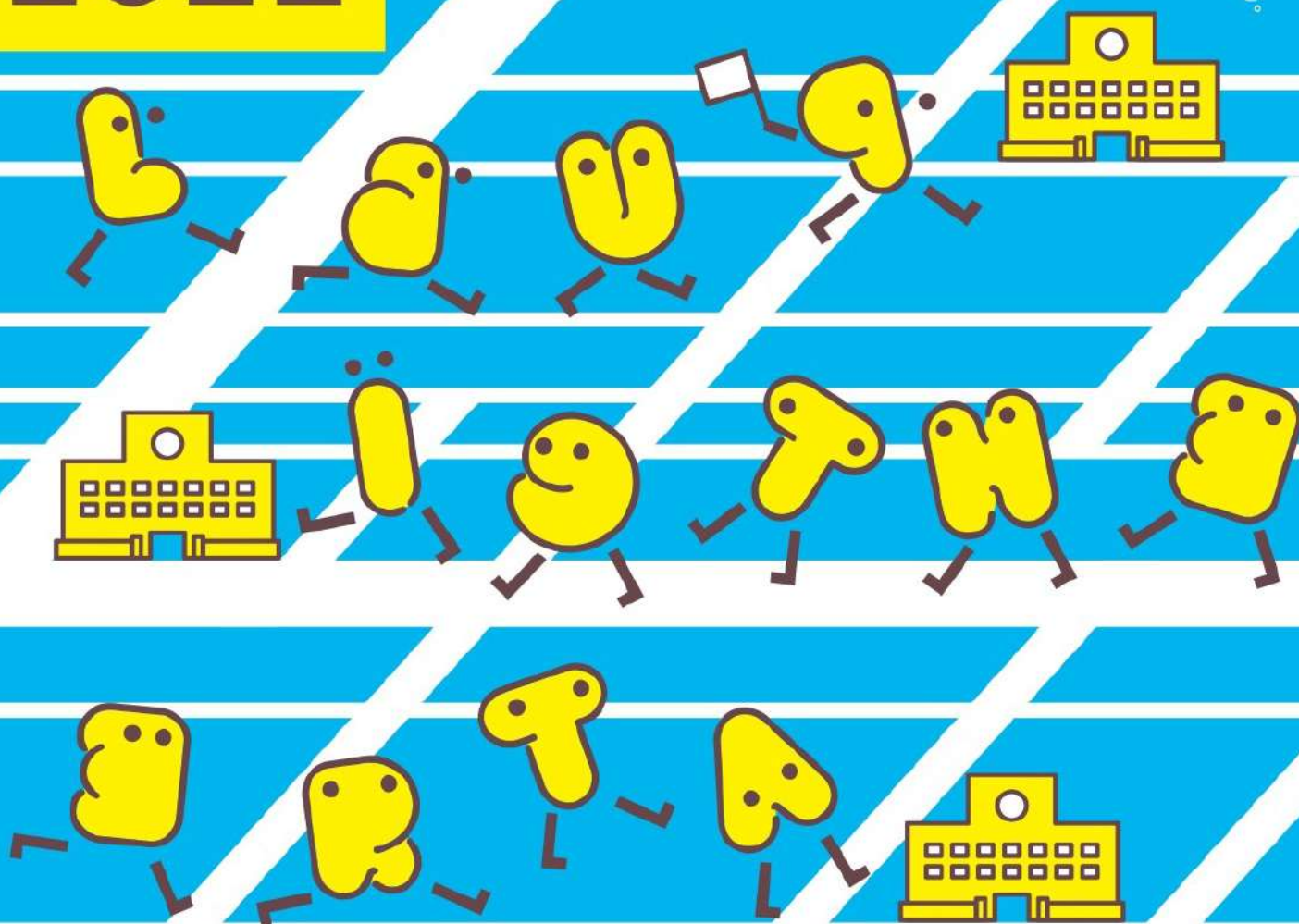


世田谷区立小中学校向け事業 2022年度実施校募集案内

世田谷パブリックシアターを 学校の授業で 活用しませんか？ 2022

世田谷パブリックシアター
SETAGAYA PUBLIC THEATRE

正解のない問いについて考えていくこと。
浮かんだアイデアを相手に伝え、
相手のアイデアも受け止めること。
一緒に何かを生み出すこと。
その試行錯誤の時間が
「演劇ワークショップ」であり、
子どもたちの「生きる力」を育みます。



TEL: 03-5432-1526

FAX: 03-5432-1559

〒154-0004 世田谷区太子堂4-1-1

担当: 世田谷パブリックシアター学芸

随時申込
受付中



かなりゴキゲンなワークショップ巡回団

学校やクラスの目的に合わせて、進行役を派遣。

先生とご相談しながらオーダーメイドのワークショップを提案します。

期間:2022年5月～2023年3月

対象:小学1年生～中学3年生、特別支援学級、適応指導教室

参加単位:クラス単位、学年単位

所要時間:1回2時限から。

※ご希望の内容によって、お受けできる参加単位・最小回数が異なります。右ページの申込み用紙をご覧ください。



教科「日本語」

- 小学1年生「いろいろなものになりきってみよう」
- 小学2年生「いっぼんみちをあるいていたら」
- 小学5年生「故事成語で演劇」
- 小学6年生「学校で働く人」
- 中学2年生「『演劇』を使って考える～『子どもの権利条約』について」



クラスづくり

みんなで演劇の要素を取り入れたゲームなどをやりながら身体を動かし、グループワークで互いをよく知っていきます。表現を通じて自分や相手を知り、違いを受け入れる体験へとつなげていきます。



その他の教科 (以下は例です)

- 国語:「ごんぎつね」小学4年生
「走れメロス」中学2年生
「存在」中学3年生 など

気持ちや風景、情景を、グループで工夫しながら動きや声などを使って身体で表現することで、内容に関する理解を深めます。

- 生活:小学1年生「わたしのあさがお」 など

実際に育てたアサガオの成長の様子を、動きやセリフ、歌などを織り交ぜながら表現。学習したことを身体表現として他の人に伝えることで、細部まで観察する眼を養い、理解の定着を促します。

- 社会:小学5年生「環境問題」 など

環境問題を自分たちの目線にとらえ、話し合い、理解を深め、学習を通じて感じたことなどを言葉にして演劇にします。例えば、「ゴミのポイ捨て」「放置自転車」などのテーマごとにグループに分かれて活動することも可能です。



学芸会・学習発表会

学芸会・学習発表会の下準備としての表現活動から、人数にあわせた台本選びや本番の舞台転換等のアドバイスなど、単発から複数回まで、さまざまなご要望におこたえして実施しています。

その他何でも…



ご依頼にあたって

1. 実施時期

年間を通して実施しています。

お申込みいただいた順番に日程を組んでいきますので、ご希望の場合はお早めにお申し込みください。例年、学芸会・学習発表会にむけて活動する9月～11月、小学1・2年生の教科「日本語」での依頼が多い1月～2月は、特に実施希望が重複しやすく、ご希望にそえないことも多くなります。

学校公開期間中の実施はお断りしています。

保護者の存在を気にして活動に集中できない場合がありますのでお断りしています。ただし、1クラス3回以上お伺いする場合は、最終回を学校公開期間中に調整できる場合は可能です。

2. 参加単位・実施回数

ご希望の活動内容によって、お受けできる参加単位や回数が異なります。

活動の目標に応じてそれぞれ設定しています。「申込み用紙」の「実施希望回数」欄をご確認ください。次年度以降、本条件は変更となる可能性がございます。

3. 費用

学校ごとの事情が異なるため、一律の金額は設定していません。

目安として「外部講師を呼ぶときに普段支払う金額」をお考えください。本事業は、学校からお支払いいただいたワークショップ実施料金と、劇場が獲得した助成金や補助金などにより運営しています。

なんでもQ&A

Q1 どんな学校・学級にも来てもらえますか？

A1 どなたでも依頼できます。通常学級だけでなく、特別支援学級にも伺います。

世田谷パブリックシアター（公益財団法人せたがや文化財団）は、世田谷区の劇場です。区立の小中学校であれば、どの学校でも伺います。世田谷パブリックシアターの契約進行役が学校の状況に応じて、ご相談しながらプログラムを組み立てていきます。

Q2 演劇ワークショップではなにをするのですか？

A2 演劇づくりやそのプロセスの一部を体験し、その体験を学びに活かします。

演劇をつくる過程には2つの側面があります。「(表現したいこと、伝えたいことを)発見すること」、そしてそれを「アウトプット(表現)すること」です。そのプロセスには、ともに作業する仲間を知ること、受け入れること、調べること、意見を出し合うこと、人に伝えるために表現の工夫をすることなど、さまざまな要素が含まれます。演劇ワークショップは、その演劇づくりをさまざまな角度から実践していきます。

Q3 ワークショップ中、教員は何をしたらいですか？

A3 ワークショップは進行役にお任せください。先生方にはワークショップを見学しながら、子どもたちの違う面を発見し、いっしょに楽しんでいただいています。

時には参加したり、子どもたちにアドバイスしたり、気楽な気持ちでその場においていただければと思います。先生にとって、自分のクラスを横から眺めていられるのも大きなメリットです。普段は目立たない子どもの意外な一面に気づくこともあるかもしれません。

Q4 用意しておくことはありますか？

A4 子どもたちが動きやすい場所が必要です。

通常はランチルームや多目的室などで行います。低学年は、机と椅子を外に出していただければ、教室でも可能です。また今年度については、十分な換気や距離をとるため、屋外や体育館などでの実施もお受けいたします。

服装は普段着でかまいません。

Q5 打ち合わせはどこで行いますか？

A5 進行役か劇場スタッフが学校に伺います。

先生、進行役、劇場スタッフで希望する内容、各学級の様子、ワークショップ当日の会場、その他の事情について確認します。

Q6 「先生のためのワークショップ」と「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」の違いは何ですか？

A6 先生方自身が、演劇の手法を活用できるようにお手伝いするのが「先生のためのワークショップ」です。

「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」は、演劇の専門家が、先生方と協力して子どもたちを支援する事業です。時には学校のご事情や習慣とは異なる提案をすることもあるかもしれません。先生ご自身で演劇ワークショップを行いたい場合は「先生のためのワークショップ」をおすすめします。

申込み用紙 [お申込みはFAXで03-5432-1559]

以下の通り、世田谷パブリックシアター「学校向け事業」に申し込みます。

お申込み日

月 日

学校名 ※複数学年ご希望の場合、学年ごとにご記入下さい

TEL

FAX

受け入れご担当の先生 お名前(フリガナ)

連絡のつきやすい曜日、時間

ワークショップ実施料金

どちらか○をおつけください。

予算あり(

)円

・ 予算なし

※目安として「外部講師を呼ぶときに普段支払う金額」をお考えください。

※過去2年間において実施したことのある学校(有料無料問わず)は有料となります。

※実施料金処理のご担当の先生

先生(役職:

)

学年	組	担任	クラスの人数	担任の先生の「巡回団」の経験	
				ある・なし	年度 学校
				ある・なし	年度 学校
				ある・なし	年度 学校
				ある・なし	年度 学校
				ある・なし	年度 学校
				ある・なし	年度 学校

ご希望の内容

※プログラム紹介ページを参考の上、○をつけてください。

1:教科「日本語」

2:その他の教科
教科()

3:クラスづくり

4:学芸会・
学習発表会

先生のためのWS

その他
()

実施希望回数 お受けできる参加単位・最小回数は以下の通りです。

【1.教科「日本語」】

小学1年生→クラスごとに、1回(連続2時間)から受付。

小学2年生→クラスごとに、2回(連続2時間×2)から受付。

小学5年生→クラスごとに、必修分1回(連続2時間)から受付。選択も希望の場合は、
必修分1回(連続2時間)+選択分(1時間)から受付。小学6年生→クラスごとに、必修分1回(連続2時間)から受付。選択も希望の場合は、
必修分1回(連続2時間)+選択分1回(連続2時間)から受付。

中学2年生→クラスごとに、選択分1回(連続2時間)から受付。

【2.その他の教科】、【3.クラスづくり】

クラスごとに、1回(連続2時間)から受付。

【4.学芸会・学習発表会】

クラス・学年単位で、1回(連続2時間)から受付。

※回数が多くなりましてもお引き受けします。分散登校やその他特別な授業体制等も対応いたしますので、ご相談ください。

[記入欄]

実施可能な時期 (期間中で難しい日や曜日があればお知らせください)

※学校公開期間中は不可

()学校 ()年

※こちらのページも必ずご記入ください

希望内容

目標・できるようになりたいこと

困っていることなど



先生もワークショップを体験してみませんか？

「教科『日本語』の表現をどう指導したらよいか分からない」「演劇ワークショップを体験したことがないから、どんなことができるのか想像つかない」とお困りのさいは、ぜひ劇場までご相談ください。世田谷区の小中学校で実施している「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」の進行役が、放課後に学校へ伺います。

先生のためのワークショップ 放課後編

期間=2022年5月~2023年3月

対象=区立小中学校の先生

参加単位=5人程度から実施可能。学年、学校単位だけでなく、近隣の学校の先生と合同でもお受けいたします。

内容=世田谷区教科「日本語」や「クラスづくり」などでの実践例を体験します。1回のみでなく、継続した内容での定期的な実施も可能です。

費用=無料

世田谷パブリックシアターとは

世田谷区がつくり、公益財団法人せたがや文化財団が運営している演劇やダンスのための専門劇場です。三軒茶屋のキャロットタワーの中に、世田谷パブリックシアター(約600席)、シアターラム(約200席)の2つの劇場と稽古場、作業場などを擁しています。

芸術監督は白井晃。上演活動はもちろん、ワークショップやレクチャーなど地域の人々が演劇を実践する事業にも力を入れています。世田谷の学校は第2のホームグラウンドだと思っています。

2021年度の「ワークショップ巡回団」

実施校数



実施回数



参加者数



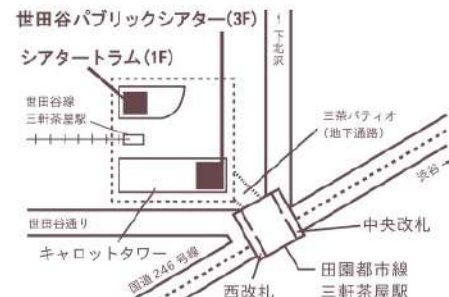
[主催] 公益財団法人せたがや文化財団

[企画制作] 世田谷パブリックシアター

[後援] 世田谷区・世田谷区教育委員会



文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



世田谷パブリックシアター
SETAGAYA PUBLIC THEATRE